

2018年8月6日
住友商事九州株式会社
社長 前田恒明

大分県内高等学校 企業訪問受入れの実施報告

8月3日（金）福岡本社にて大分県内の高校生52名を企業研修として訪問受入れいたしましたので報告します。

本件は、大分県教育委員会からの要請を受け実施したものです。大分県教育委員会は、次世代を担う大分県内の高校生1～2年生を対象とした研修プログラム「グローバルリーダー育成塾」を立ち上げており、本育成塾の夏季課外研修として福岡での企業訪問が計画されました。本育成塾は「世界の課題を解決する」というテーマを掲げており、本テーマを扱う上で、国際的に活躍しているグローバルリーダーによる声を是非とも高校生に届けて頂きたいと、九州における総合商社である当社に声が掛かったものです。

企業研修の内容は住友商事九州社員より以下5つのテーマによる講話に加え、質疑応答という形式で行いました。

- ① 企業が求めるグローバルリーダーとは
- ② 国籍や文化の違う方との繋がりの中で必要なことは何か
- ③ 外国人と日本人との感覚の差について
- ④ 挑戦することの大切さ
- ⑤ 英語力がどこまで必要であるか

当社側の参加者の講話に、熱心に耳を傾けノートを取る高校生の姿を見て、研修全体のテーマである「挑戦意欲と使命感」「多様性を受け入れ、協働する力」「大分県や日本への深い理解」「知識・教養に基づいた論理的に考え伝える力」を養うきっかけとして何らかの気づきを与えられたと感じました。

今後も九州地域ひいては将来の日本にとって活力を生む取組みに貢献して参りたいと思っています。

